



平成 20 年 9 月 17 日

報道機関 各位

東北大学研究協力部産学連携課

### 「東北大学イノベーションフェア 2008 in 仙台」を開催

東北大学では、標記フェアを平成 20 年 9 月 30 日(火)に仙台で開催いたしますが、この度、発表内容の詳細が決定いたしました。

つきましては、このことについて貴報道機関にて報道して下さるようお願い申し上げます。

発表内容は、展示ブースによる研究紹介、プレゼンテーション、デモンストレーションの3部構成で多岐にわたっております。

また、基調講演といたしまして、元トヨタ自動車取締役の井上恵太(とくた)氏による「『地球温暖化』と自動車の将来」を予定しております。詳細につきましては別添のリーフレットをご覧ください。

- 1 名称 東北大学イノベーションフェア 2008in仙台
- 2 日時 平成 20 年 9 月 30 日(火) 10:30~17:00
- 3 会場 仙台国際センター2F「萩」・「橘」
- 4 内容
  - 1、全学の研究内容紹介
    - ・展示ブース(60 テーマ)
    - ・プレゼンテーション(6 テーマ)
    - ・デモンストレーション
  - 2、基調講演(13:00~14:30)
    - 講師 東北大学客員教授(元トヨタ自動車取締役) 井上恵太(とくた)氏
    - 演題 「『地球温暖化』と自動車の将来」
- 5 参加対象 首都圏企業、東北地方主要企業、他大学、行政関係者、学内研究者、学生(大学生、高校生)、一般市民等(自由参加)
- 6 参加料 無料(事前申込み不要、但し基調講演のみ必要)
- 7 主催 東北大学
- 8 後援予定 東北経済産業局 宮城県 仙台市
  - (独)科学技術振興機構 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
  - (独)産業技術総合研究所 (財)みやぎ産業振興機構 (社)東北経済連合会
  - (社)みやぎ工業会 (株)インテリジェント・コスモス研究機構
  - (株)東北テクノアーチ (株)七十七銀行(順不同)

<問い合わせ先>

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-10

東北大学研究協力部産学連携課

東北大学イノベーションフェア事務局

電話: 022-795-3219 FAX:022-795-4145

E-mail: inv2008snd@rpip.tohoku.ac.jp

HP: <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/inv2008.htm>



# 東北大学 イノベーションフェア 2008 in 仙台

同時開催!

—研究成果発表・交流の集い—

産学官連携フェア  
2008みやぎ

【主催】

(財)みやぎ産業振興機構

平成20年  
9月30日(火)

午前10時30分～午後5時

会場: 仙台国際センター  
2階 [萩][橘] (仙台市青葉区青葉山)

入場  
無料

発  
見

発  
信

発  
展

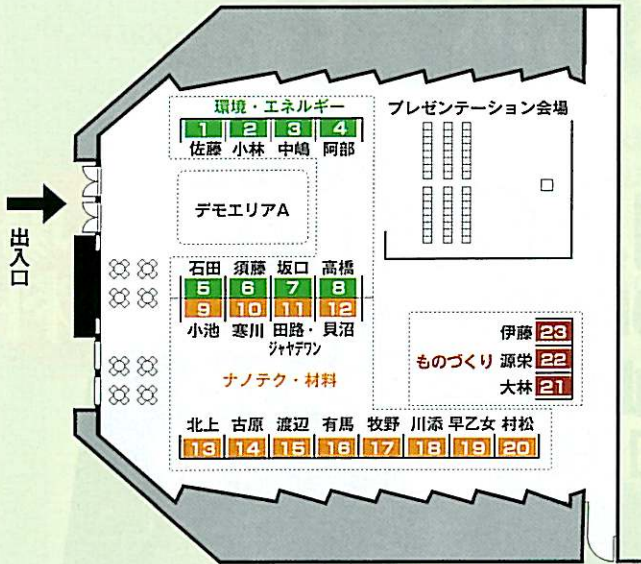
ロボット、医工連携・ライフサイエンス、ナノテク・材料、情報通信、  
環境・エネルギー関連などの最先端技術の紹介

## 出展者一覧



TOHOKU  
UNIVERSITY





環境・エネルギー

- 1 地中レーダと地下埋設物計測技術  
●東北アジア研究センター 教授 佐藤 源之
- 2 流体科学研究所「エネルギークラスター」  
-エネルギーの安全とゼロエミッションを目指して-  
●流体科学研究所 教授 小林 秀昭
- 3 太陽電池用高品質Siバルク多結晶インゴットの成長技術  
●金属材料研究所 教授 中嶋 一雄
- 4 養鶏廃棄羽毛からの新規水溶性ケラチンの製造と化粧品商材開発  
●未来科学技術共同研究センター 准教授 阿部 敬悦
- 5 土のすごさを活かした調湿材料  
●環境科学研究科 教授 石田 秀輝
- 6 地圏環境の汚染修復技術の開発と評価  
●環境科学研究科 准教授 須藤 孝一
- 7 地殻環境の高度利用技術  
～ 応力解放法に基づく高精度深部地圧計測法 ～  
●環境科学研究科 講師 坂口 清敏
- 8 新しい分析化学モチーフとその生体系・環境系物質計測への展開  
●環境科学研究科 助教 高橋 透

ナノテク・材料

- 9 先端電子デバイス用薄膜配線  
●工学研究科 教授 小池 淳一
- 10 「流体科学研究所」 ナノ・マイクロクラスター  
●流体科学研究所 教授 寒川 誠二
- 11 機能性ナノ材料の合成法開発と工学・医学・環境応用  
●環境科学研究科 田路・ジャヤデワン研究室

ナノテク・材料

- 12 新型銅系形状記憶合金の開発とその応用  
●多元物質科学研究所 教授 貝沼 亮介
- 13 ナノ磁性体の超高感度磁化検出と高密度スピンデバイスへの展開  
●多元物質科学研究所 教授 北上 修
- 14 構造用金属材料の組織制御/高性能化の新原理確立  
●金属材料研究所 教授 古原 忠
- 15 強磁場を用いた熱処理プロセス  
●金属材料研究所 教授 渡辺 和雄
- 16 マルチフェロイック(磁性強誘電体)の電気分極の磁場制御とその微視的機構の研究  
●多元物質科学研究所 教授 有馬 孝尚
- 17 金属ガラスの開発と工業製品化  
●金属材料研究所 牧野 彰宏
- 18 スパコンを用いた材料設計  
不揮発性強誘電体メモリ(FerAM)の超高速分子動力学シミュレーション  
●金属材料研究所 教授 川添 良幸
- 19 金属ガラスの実用化技術  
●金属材料研究所 教授 早乙女 康典
- 20 透明導電膜用ITOナノ粒子の最前線  
●多元物質科学研究所 教授 村松 淳司
- 21 流体科学研究所 エアロスペースクラスター  
●流体科学研究所 教授 大林 茂
- 22 地域版地震早期警報システムのプロジェクト展開  
●工学研究科 教授 源栄 正人
- 23 周波数シフト帰還型レーザーを用いた光速隔3D計測装置  
●工学研究科 教授 伊藤 弘昌

ものづくり

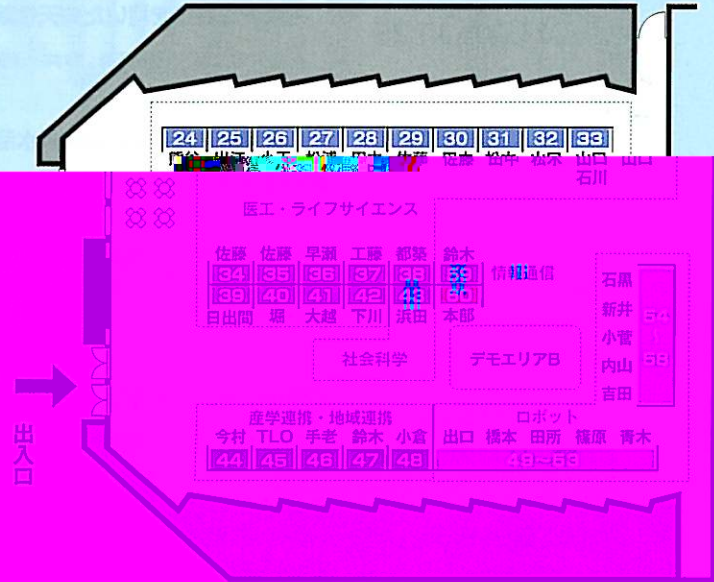


医工・ライフサイエンス

- 24 生涯、発現が持続する、新しい超音波遺伝子治療  
●医学系研究科 助教 熊谷 啓之
- 25 脳深部用磁気刺激装置の開発  
●医工学研究科 教授 出江 紳一
- 26 がんの早期診断と治療を目指したナノバブルと超音波を用いた分子デリバリーシステムの開発  
●医工学研究科 教授 小玉 哲也

がん発症を利用した癌後遺症の診断システム等の開発

- 27 ●医工学研究科 教授 松浦 祐司
- 28 「やさしさ」を先端技術で創出する医療福祉工学  
●医工学研究科 教授 田中 真美
- 29 磁気で拓く次世代医療と福祉  
●医工学研究科 准教授 佐藤 文博
- 30 生体融和型医用マイクロ・ナノシステム  
●医工学研究科 教授 田中 徹
- 31 REDEEM 文部科学省「医療工学技術者創成のための再教育システム」  
●医工学研究科 准教授 松木 範明
- 32 人体の機能の解明と疾病の克服を目指す計算生体力学  
●医工学研究科（工学研究科） 山口・石川研究室
- 33 東北大学グローバルCOE「新世紀世界の成長焦点に築くナノ工学拠点」  
●医工学研究科 教授 山口 隆英
- 34 バイオメカニクス～生体の構造と機能に対する力学的アプローチ～  
●医工学研究科 教授 佐藤 正明
- 35 医工学研究科の概要  
●医工学研究科 医工学研究科長 佐藤 正明
- 36 流体科学研究所 ライフサイエンスクラスター  
●流体科学研究所 教授 早瀬 敏幸
- 37 非侵襲的アルツハイマー病診断用プローブ開発  
●未来医工学治療開発センター 教授 工藤 幸司
- 38 生活習慣病を予防する機能性食品の開発  
●農学研究科 准教授 都築 毅
- 39 細胞膜透過性有用タンパク質の作製と新規細胞形質転換系への応用の試み  
●農学研究科 助教 日出間 志寿
- 40 寄主植物香気成分を利用した斑点米カメムシ誘引剤の開発  
●農学研究科 助教 堀 雅敏
- 41 新しい水産物のトレーサビリティシステム  
●農学研究科 准教授 大越 和加
- 42 低出力体外衝撃波を用いた非侵襲性血管新生療法の開発  
●医学系研究科 教授 下川 宏明



社会科学

- 43 東北大オリジナルのMOT教材開発  
●情報科学研究科 講師 浜田 良樹

産学連携・地域連携

- 44 津波防災研究の推進と地域社会への貢献と展開  
●工学研究科 教授 今村 文彦
- 45 株式会社東北テクノアーチ (TLO)  
●株式会社 東北テクノアーチ 代表取締役社長 井筒 弘
- 46 先端研究施設共用イノベーション創出事業  
●ナノテク融合技術支援センター 特任教授 手老 省三
- 47 「化学系研究設備有効活用ネットワークの構築」東北地域活動  
●多元物質科学研究所 教授 鈴木 茂
- 48 未利用養蚕資源を軸とした新産業拠点形成のための異分野融合研究  
●農学研究科 准教授 小倉 振一郎

情報科学

- 49 東北大学ダイナミックロボティクス研究グループ (1)～(10)  
●情報科学研究科 工学研究科 教授 出口 光一郎、教授 橋本 浩一、教授 田所 諭、教授 藤原 歩、教授 青木 孝文、教授 吉田 和哉、教授 内山 勝、教授 小菅 一弘、教授 新井 史人、教授 石黒 章夫

電気通信

- 59 川内記念講堂100周年記念改修の音響設計とその可聴化—東北大学100周年記念会館(川内新ホール)の音を事前に聞いてみませんか—  
●電気通信研究所 教授 鈴木 剛一

産学官連携推進

- 60 産学官連携推進の戦略的取組みとこれから目指す国際産学連携  
●産学官連携推進本部 本部長 渡邊 誠



## 研究紹介展示ブース

各分野の展示内容や関係機関の取り組みを紹介

展示ホール [萩・橋]

10:30~17:00

## 研究紹介プレゼンテーション

研究者によるより詳しい研究内容の紹介

展示ホール [萩]

11:00~16:25

11:00~11:25

仮骨延長法を用いた先天性顔面形態異常へのアプローチ ~新たなる展開~

●医学系研究科 講師 今井 啓道

11:30~11:55

養鶏廃棄羽毛からの新規水溶性ケラチンの製造と化粧品商材開発

●未来科学技術共同研究センター 助教 山形 洋平

14:30~14:55

スパコンを用いた材料設計  
不揮発性強誘電体メモリー (FeRAM) の超高速分子動力学シミュレーション

●金属材料研究所 助教 西松 毅

15:00~15:25

地域版地震早期警報システムのプロジェクト展開

●工学研究科 教授 源栄 正人

15:30~15:55

流体科学研究所 ライフサイエンスクラスター  
~脈診用脈波計測装置、物性と形状を兼ね備えたバイオモデル~

●流体科学研究所 准教授 太田 信

16:00~16:25

新しい分析化学モチーフとその生体系・環境系物質計測への展開

●環境科学研究科 助教 高橋 透

## 基調講演

時間: 13:00~14:30 会場: 大ホール

演題「地球温暖化」と自動車の将来



講師 井上 恵太氏

東北大学未来科学共同研究センター客員教授  
中部大学生命健康科学部特任教授  
元(株)トヨタ自動車取締役  
元(株)コンボン研究所代表取締役所長

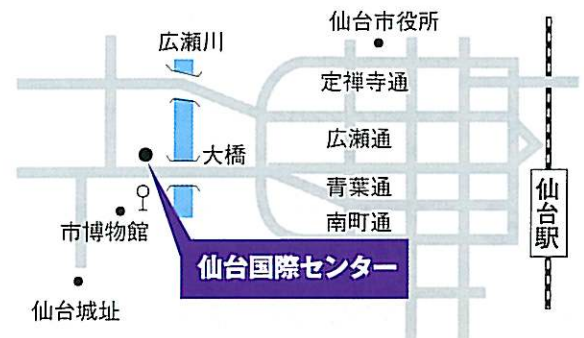
トヨタ自動車では、エンジンの先行研究、開発に従事し、世界の厳しい要求に適合する低公害、低燃費エンジンの開発を行ってきた。1984年世界に先駆けてリーンセンサーフィードバック方式希薄燃焼エンジンの開発、量産化に成功した。また、トヨタグループ12社が科学、技術、社会に関する課題を根本から研究する目的で設立した(株)コンボン研究所の所長を務めた。

## 【主催】東北大学

【後援】東北経済産業局、宮城県、仙台市、(独)科学技術振興機構、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)みやぎ産業振興機構、(社)東北経済連合会、(社)みやぎ工業会、(株)インテリジェント・コスモス研究機構、(株)東北テクノアーチ、(株)七十七銀行(順不同)

## 仙台国際センターまでのアクセス

仙台駅前西口バスプール⑨番乗り場から  
【710 宮教大・青葉台】【713 宮教大・成田山】【715 宮教大】  
【719 動物公園循環(青葉通・工学部経由)】  
【720 交通公園・川内(営)】のいずれかに乗り  
【博物館・国際センター前】下車



駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

## お問い合わせ

## 東北大学イノベーションフェア事務局

TEL 022-795-3219

FAX 022-795-4145

URL <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/inv2008.htm>

E-mail [inv2008snd@rrip.tohoku.ac.jp](mailto:inv2008snd@rrip.tohoku.ac.jp)